



Vol.153

2022年10月号

やらざあ

ふみだそう、福祉でまちづくり

令和3年9月5日夜の局地的豪雨により、宮川地区では道路の冠水や住宅への浸水、土石流などの甚大な被害がもたらされました。

宮川土石流災害から一年



諏訪大社御柱祭上社里曳き時（高部公民館）

日頃からのつながり・支え合い

隣近所で「顔の見える関係」ができていると、支援が必要な人の様子が分かるため、安否確認や避難時にスムーズに声を掛けることができます。高部地区でも、夜間の土石流発生にもかかわらず、住民同士が声を掛け合い、無事に避難することができました。有事の際、『互近助』が大きな力になります。



昨年9月5日の夜、たった数時間の大雨で、区の景色と区民の生活が一変しました。土砂、泥と格闘した1ヶ月、親戚や地域の関係者、多くのボランティアに支えていただいたことに、区民は勇気づけられました。この春の御柱祭では、にぎやかに区内の飾り付けを行い、若者を筆頭に区民も参加し、久しぶりの明るい話題でした。

土石流災害から1年、完全復旧にはまだまだ時間が掛かりますが、普段の何気ない暮らしができることの尊さを感じています。

高部区長 小林 洋一



高部公民館前：竣工からわずか3ヶ月。
水や土砂は床下まで流れ込みました。



静香苑（火葬場）へ続く市道：下馬沢川が土砂で埋まり、道路に
濁流が押し寄せた。アスファルトが破損し川のように見えます。



ボランティア活動

被災地の復旧・復興には、ボランティアの力は欠かせません。茅野市社協では9/7に災害ボランティアセンターを開設し、市内を中心に集まった520人のボランティアが、被害の大きかった高部地区への支援のため活動しました。また、11月には市内の高校2校の生徒の協力を得て、「おもいでお返し隊」（写真洗浄）の活動を行いました。

被災地での活動だけがボランティア活動ではありません。自分のできることから始めてみませんか。



募金や義援金で被災地を支援

被災地に出向くだけでなく、募金や義援金等で被災者や被災地で活動するボランティア団体やNPOを支えることもできます。宮川の災害でも募金や義援金が集められ、茅野市を通じて被災者へ届けられました。

また、社会福祉協議会が事務局を務める「赤い羽根共同募金」では、国内の大規模災害に備えるため、募金の一部を「災害等準備金」として積み立てています。被災者支援のための炊き出しや、被災地でのボランティア活動等の資金として使われています。（赤い羽根共同募金については、今号4～5ページをご覧ください。）

お知らせ

今年も
「ひとにぎりの
お米(支援米)」
を募集します!!



生活に困窮し、日々の「食」にお困りの方などへの支援米を募り、各支援団体や市内の生活で困っている世帯にお渡しする予定です。

(期間) 10月3日(月)から12月2日(金)まで

(受付) 茅野市社会福祉協議会 事務局
《茅野市ひと・まちプラザ2階》

※お米は直接、社協事務局へお持ち下さい。

(受付物) うるち米

(新米、玄米、古米は令和3年度産のもの)

※粳での受付はできません。

※もち米と、野菜については事前にお問い合わせください。

(送付先) SOSネットワーク諏訪、反貧困ネットワーク、長野、市内の生活で困っている世帯等

移送サービス運行協力員 (運転ボランティア) 急募!

女性も大歓迎です!



茅野市社会福祉協議会では、心身の障害等により、一人でバスやタクシーなどの公共交通機関を利用することが困難な方を支援するため、車イスのまま乗れる車両による移送サービスを実施しています。

この車両の運転と乗降の補助をしていただける運行協力員を募集します。

《募集要件》

市内在住で自動車第二種免許もしくは普通免許をお持ちの方で、福祉に理解と熱意のあるおおむね65歳未満の方。(普通免許の方は所定の講習を受講していただきます)

《活動日時》

月～金曜日の8:30～17:00のご都合の良い時間。

(祝日・年末年始の活動はありません)

活動日や時間は、事前に確認して日程調整をさせていただきます。

《活動報酬》

本会の規定に基づいてお支払いします。

次年度も計画します
申し込み待ってるね!

夏のボランティア体験

「サマーチャレンジ2022」 中止になりました

小学校5年生から大学生の他に一般の方からの申込みもあり、総勢72名が保育園や高齢者、障がい者施設、ボランティア団体など30の受入れ先でボランティア体験を予定していました。しかし、残念ながら諏訪圏域の新型コロナウイルス感染警戒レベルが4に引き上げられたことに伴い、参加者及び関係者の健康を鑑み中止になりました。(「写真洗浄ボランティア思い出お返し隊」のみ、日程を延期し実施を予定しています。)

第59回 茅野市社会福祉大会 「ともに生きる豊かな地域社会」 の実現を目指して

日時: 令和4年11月27日(日)

10時00分から12時00分

会場: 茅野市ひと・まちプラザ 3階集会室

内容: ■社会福祉貢献者表彰

■「ともに生きる豊かな地域社会」を考える
(講演会などの予定)

地震、大雨による洪水や土石流、大雪などの自然災害、私たちの生活を一変させた新型コロナなど、他人事では済まされない事象が多く発生しています。昨年の宮川土石流災害を経験し、顔の見える関係から日頃のつながりの大切さを再認識しました。今年の社会福祉大会では、未来に向けた支え合いのコミュニティづくりについて考えます。

※今後の新型コロナウイルスの感染状況により開催方法の変更や中止となる場合があります。

問合せ: 茅野市社会福祉協議会 TEL (0266) 73-4431

<金沢地区>



ハッピー プラント プレゼント

高齢者の見守りを兼ねて“お花のプレゼント”行事を行いました。「嬉しい」「元気がでる」と好評でした。

<湖東地区>



配食サービスの 実施

地区内のひとり暮らしの高齢者等の見守りを兼ねてお弁当をお届けしました。

<北山地区>



学校での あいさつ運動の 実施

行動のスタートは「あいさつ」から。北山に「おはよう」の音が響きました。

<中大塩地区>



ふれあい スイーツの実施

毎年12月のふれあい弁当に代わり、おはぎと花束に絵手紙を添えてお届けしました。

赤い羽根共同募金で 防災物品を整備

「安心・安全なまちづくり活動公募配分」は、区・自治会等の防災活動を支援しています。今年度は茅野市内の3団体に、総額60万円が配分され、防災物品を整備しました。

配分を受けた区より『ありがとうメッセージ』をご紹介します。

ひばりヶ丘区
区長
牧口勝彦さん



茅野市防災ガイドブックでは、糸魚川-静岡構造線断層帯(南側)による地震が起きた場合、ひばりヶ丘区は震度7が予想されています。もしもの災害に備え、避難時の安全確保の為の備品を申請しました。皆様からご協力いただいた募金を地域の防災に活用させていただきます。

申請内容：テント・ヘルメット
配分決定額：200,000円

菊沢区
副区長
神近勇二さん



もしものに備え、防災倉庫を設置するなど、避難所設置の準備を随時進めています。災害本部設置・救護所設営・炊き出し対応の為のテントが不足していたので、この助成は大変ありがたいです。

申請内容：テント
配分決定額：200,000円

東平自治会
自治会長
横内康善さん



近年の災害により防災意識が高まる中、地域防災は備品の整備が急務であると感じます。避難場所ですら安心して救護を待てるように、発電機等を申請しました。大切に使用させていただきます。

申請内容：発電機・ガソリン携行缶
配分決定額：200,000円

赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします!

今年も10月1日から
赤い羽根共同募金運動がスタートします。
毎年市民のみなさんのあたたかい気持ちに、厚く御礼申し上げます。
みなさんから寄せられた募金は
県内及び茅野市内の社会福祉充実のための資金として使われています。



各地区では、赤い羽根共同募金をこのように活用しています

<ちの地区>



山ノ内町 「わくわく商店街」 を視察

ボランティア・商工会・社協の三位一体の事業を見学。視察したみなさんも刺激を受けました。

<宮川地区>



作品展の開催

心の豊かさの育みと地域のつながりを作る文化交流として、毎年7月にメリーパークで作品展を開催しています。

<米沢地区>



ふれあい弁当の 配布

80歳以上の高齢者のお宅を訪問しお弁当を配布しました。「こんにちは」と「ありがとう」がお互いを笑顔にしてくれます。

<豊平地区>



宅配弁当の実施

75歳以上ひとり暮らしの方を対象に豊平小児童の心温まるお手紙を添えて配ります。

<玉川地区>



学校での あいさつ運動の 開催

「あいさつでつながる玉川」を目指し、春と秋にはあいさつ運動強化月間を実施しています。

<泉野地区>



学校での あいさつ運動の 開催

各区・自治会でのあいさつ・声かけ運動と共に、3地区合同あいさつ運動も行っています。

ひとりで悩まず まず相談

人生には様々な悩みがあります。

「誰にも相談できない」

「どこに相談したらよいかわからない」

そんなときは、まず社協にお電話ください。

すべての相談会場は

社協相談室(茅野市ひと・まちプラザ2階)になります。

☎73-4431

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止又は、電話による相談になる場合があります。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：社協職員

結婚相談

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

ご寄付ありがとうございました

令和4年6月1日～令和4年7月31日まで

(順不同、敬称は省略させていただきます)

【寄贈】

愛の会 (宮川新井区)

清拭布 30.4 Kg

宮澤 (豊平)

玉ねぎ、コーヒー等

【寄付金】

内田 房志

100,000円

H7～H10年の玉川地区民生児童委員の皆さま 10,000円

【遺志金】

矢嶋 恵美子

50,000円

みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。

※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 やらざあ Vol.153

2022年10月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431 FAX (0266) 73-8030

URL : <https://sharara.or.jp>

E-mail : support@sharara.or.jp

読者の声

- 新型コロナウイルス感染が急拡大する中、今年も残念ながら茅野どんばんが急遽中止になりました。来年こそは御柱が開催できたように皆様で感染防止対策を強化して無事開催できることを願っています。(50代・女性)



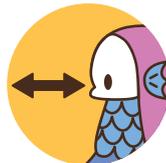
手洗い



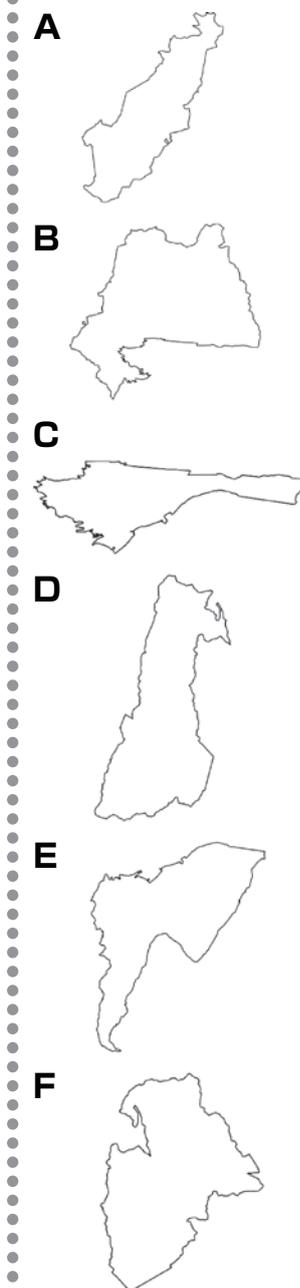
マスク



消毒



間隔を開ける



諏訪6市町村の地図です。茅野市はどれでしょう？



ヒント：
北海道に似てるよ

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協(やらざあ編集委員会)までお送り下さい。ハガキや封書その他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

令和4年10月12日(水)

前回のクイズの答え

E・A・C・D・B

当選者

牛山さき子さん(玉川)

前回は難しかったでしょうか？多くの方々のご応募をお待ちしています。

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と共同募金の配分金が使われています。